



みのり

No. 105

掲載内容

- 2 巻頭言、女性活躍ロールモデル取材
- 3 年始・祈願式、生涯現役社会推進大会大分県大会
- 4 みのり村ふれあい体育祭、初盆会法要、内定式
- 5 わたしの職場リレー、チームマネジメント研修
- 6 創立記念式・永年勤続表彰、みのり村作品展
- 7 日出部駐車場整備工事、ママパパ with ホリデー、Café m・歩っのトリプルカレー
- 8 お知らせ、編集後記

発行日

2023年2月23日

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

(株) 電子印刷センター

経営理念 Management Philosophy

花のように 優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし、地域・社会より愛され、認められる法人をめざし、社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

賀 春

2023年 「平穏な一年を祈る」

また一年が巡ってきました。

2020年のオリンピックも瞬く間に終了し過去の産物になったが、その関係の捜査は延々とまだに続いている。2025年には万博というレガシーを創造しながら国は経済効果を見積もっています。しかし、オリンピックもレガシーを残すと言いながら残ったのは後味の悪いものばかり。この様な世情に万博というものをあえて日本が行わなければならないのか、グローバルな祭典を行えば莫大な資金が動き、利権や汚職が横行する。

世界的にSDGsを唱える昨今なら、もっと自然の海や山を題材にした北海道から沖縄間での地方にての人間と自然の尊厳と共存をテーマにした万博等を考えられないものか、とつい考えてしまいます。

そう考える理由の一つは、(特別軍事作戦

という美名のもとにおける) ロシアによる侵略行為。この時代に大国であるロシアが、如何なる理由があるにせよ人権を無視した行為により弱者である子ども・老人・女性が虐げられ、いとも簡単に若者達が去ってゆく。全くもって愚行千万。これらの行為は人間の強欲や放漫から開始したこと故、ストップ可能な問題である。しかし、これができないのが人間でもある。

反対に3年以上も続いているコロナは自然界の法則により時として受けるべき宿命でもあるが、過去の歴史からも人類が克服してきたことである。

独裁国家により世界が振り回され、地球が破壊・汚染され人々が憎しみ合う連鎖が恐怖を煽る。資源の枯渇化による経済低下、インフレ、食料の奪い合い、最たるものは地球の温暖化に拍車がかかり、負の連鎖が…。地球は泣いてやつれてしまっている。地球に誰がどんな栄養を与えていくのか、甚だ疑問でもある。

それを思うと文明がどんなに発展しても人間は憎しみ合う「下等動物」であるといつても過言ではないか? どうか今年は「高等動物」である人間として地球をリードし、本来の教育を通じた倫理観や福祉観を養い自然環境を見つめる穏やかな一年であってほしいことを祈るばかりである。

理事長 大木 隆

大分県で働く女性ロールモデルの取材を受けました

大分合同新聞社より、女性ロールモデルの取材を受けました。インタビューを受けた職員は、「フルタイムでの業務、家事・育児をしながらの資格試験の勉強をすることは大変ではあったが、職場からの手厚いフォローを受けられたので頑張り続けることができた。」と笑顔で答えていました。(9月16日)



取材を受けた大木理事長と菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」大畑係長



令和4年10月28日 Gate way 掲載

令和5年祈願式 および年始

令和5年の祈願式を正法寺にて執り行い、役員一同で一年間の安全を祈願しました。

続いて、アクト響ホールにて3年ぶりの職員参加による年始を開催しました。理事長より、「健康に気を付けて2023年を自らの能力を発揮してチーム力を高め充実した良い年にしてください」と訓示がありました。

(1月3日)



祈願式



年始理事長訓示

新年あけまして おめでとうございます

令和5年の年頭にあたり、職員を代表致しましてご挨拶を申し上げます。

令和で迎える新年も四回目となりました。昨年は、「みのり村七十周年から、人材を固める次の八十年」と理事長が仰ったその一歩を踏み出した一年でした。

十月には九州・山口生涯現役社会推進協議会会長より「高年齢者雇用優良企業表彰」を受けました。これはみのり村の、年齢を問わず職員全員がいきいきと働ける職場づくりが認められ、更なる人材育成への励み、指針となりました。

長引くコロナ禍にありながらも現場の職員は、ご利用者の笑顔を引き出し、穏やかな生活が送れるよう日々取り組んでおります。そのことが、職員自身の経験を厚くし、みのり村の人材の幅を広くまた、厚くすることとなると確信しております。私達はそうしたすべての職員に、適切なタイミングで適切な助言を行わなくてはなりません。私達も日々精進と考えております。

私の座右の一つ、「人は弱きも含



祈願式代表挨拶

めた自身を認め受け入れることで、他者との交わり方をつかめる」との先達の言葉を胸に刻み、指導の謙虚さを失わず、しかし胸を張って業務に努めたいと思います。笑顔を絶やさず仕事に励みたいと思います。

最後になりますが、みのり村の更なる発展、みのり村に関わる全ての方の無事故をせつに祈念し、また、みのり村職員としての自負、向き合うすべてへの感謝の心を持って、業務に邁進してまいりますことをお誓い申し上げます。本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

令和五年一月三日

特別養護老人ホーム菩提樹

副施設長 榮木 たまみ

高年齢者雇用優良企業表彰を受賞しました

「令和4年度九州・山口 生涯現役社会推進大会大分県大会」にて、九州・山口生涯現役社会推進協議会会長より高年齢者雇用優良企業表彰を受賞しました。

同大会では、高齢者雇用に係るみのり村の取り組み事例を大分県代表として発表しました。

(10月7日)



令和4年 ふれあい体育祭 ～各部で開催しました～

日出障がい福祉部



第1みのり学園 (10月19日)



第2みのり学園 (10月17日)



白百合園 (10月20日)



みのりスマイル (10月14日)

杵築障がい福祉部 (10月15日)



菩提樹

高齢者福祉部

デイサービス (10月20日)



あい・そら (10月11日)



つき・ほし (10月23日)



うみ・ゆき (10月23日)



はな・ゆめ (10月29日)



入退場門 (10月29日)



みのり村本部で令和5年度4月入職予定6名の学生を対象とした内定式を行いました。4月から一緒に働くことを楽しみにしています。
(10月22日)

令和5年度 入職予定者内定式



第41回みのり村初益会法要を菩提樹で行い、法人内のご利用者30名の精霊を参加者全員でご供養させていただきました。
(8月19日)

第41回 みのり村初益会法要



Column わたしの職場リレーvol.6

菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」

利用して下さる皆様の“笑顔”と“元気”のために～



菩提樹デイサービスセンター
「風と樹々と空と」課長 大塚久美

Q1 今の仕事のやりがいは？

毎朝の玄関でのお迎え時、ご利用者からの元気な挨拶にパワーをもらっています。また、少しでも家族に迷惑をかけたくないと一生懸命にリハビリに取り組んでいる姿、少しずつできることが増え生き生きとした表情を見ると感動します。ご利用者にはいつも元気をもらってばかりです。私たちも負けられません。

Q2 今チャレンジしたいことを教えてください

これまで職員が色んなアイデアを出し合い取り組んできました。「誕生会」「初詣」「開所記念」「毎日の行事」など最近では「アクト響ホールでの作品展」といような活動を行っています。

今後さらに、ご利用者、ご家族様に寄り添った支援ができればと思います、新型コロナウイルスの終息を待



お接待はじめました



コスモスの花咲かせます

ち、ご家族様を招いての「家族会」を開催できればと考えております。

Q3 デイサービスセンターを今後どう考えていますか？

ここを利用して下さる皆様が、明るい環境でおいしい食事を食べ、広々とした空間でリハビリができ、入浴をすることで爽快な気分、他の利用者、職員と楽しい時間が過ごせる。「その人らしく」笑顔で過ごして頂けるような場を今後も提供いたします。



応援にも力が入ります



みんなでリハビリ体操

次は
白百合園です



第1回目 11月17日



第3回目 12月6日

アクト響ホールにて外部講師を招きチームマネジメント研修を全3回開催しました。

研修は中堅職員の育成を目的としており、リーダーとしてチームの目的・目標の明確化やチームの状況を把握するなど様々な研修内容を実践的に行いました。



第2回目 11月29日

チームマネジメント研修を開催



第71回みのり村創立記念式並びに永年勤続者表彰

正法寺にて、第71回創立記念式と永年勤続者表彰を執り行いました。65歳以上の永年勤続者表彰は法人本部にて行いました。
(12月8日)



10・20年 表彰者 (正法寺)



50年 表彰者



10・20年 表彰者



40年 表彰者

勤続十年表彰受賞者謝辞

本日みのり村創立記念式にあたり、永年勤続表彰を頂きましたことに、心から感謝申し上げます。

私は、平成二十四年一月にみのり村に入村し今年で十年目を迎えます。最初に配属されたのは、デイサービスセンター「風と樹々と空と」でした。そこでは、高齢者に入浴や食事の提供、機能訓練や生活相談な

勤続二十年表彰受賞者謝辞

本日は、二十年の永年表彰をして頂きありがとうございます。二十年の方々を代表いたしまして謝辞を述べさせていただきます。

国道から初めて坂道を登り白萩園の手前に、桜の木が植えられています。その頃、細くて小さかった桜が、この春、両腕を大きく広げ空に向けて何か掴もうとしているかのように、花を一杯つけて綺麗に咲いていました。さて私は、この桜のように大きく成長できたかなと感じました。

二十年前、知人からの紹介で就職を決め入職したのは、菩提樹の厨房でした。噛み砕く事も飲みこむ事も困難になりました。こんなドロドロな食事が必要になっていく事を初めて知りました。又、大人数分の食材の準備・調理と初めての経験でした。不器用な私に諦めることなく指導して頂きました。

そして新菩提樹になる頃、介護職への異動を決めて新たな出発が始まりました。未経験な私に、当時のリーダーは大変だったと思います。食事の提供をする側から、直接利用者様へ介助する側に立ち、口を開けてくれず「何で開けてくれんの?」と何度叫んだことか、食べてもらおう事の難しさを知りました。

又、ある元旦の日、利用者様が突然「お正月がきても帰ることもできんし何もしてあげられん」と声を出し、自分の体が人を頼らないと何もできなくなった事などの不満や不安を私にぶつけてきて大泣きしたことがありました。子どもさんいなくなつたので尚更だったと思います。その利用者様も去年逝つてしまい、コロナの関係でお別れもできないままです。私にもいつかこういう時が来ることを実感した出来事

勤続年数	氏名	所属
50年	大石 悦生	菩提樹
40年	中井 則夫	
20年	安部 一郎	白萩園
	小石創太郎	
	渡辺美津子	
	土田久美子	ワークセンター誠
10年	渡辺 真也	白百合園
	安倍 晴子	
	塩入 智加	菩提樹
	佐藤 倫子	
	宇都宮沙織	風と樹々と空と
	吉野 晶子	白萩園
橘 利美		
三重野愛美	ワークセンター誠	
甲斐田恵子	第1みのり学園	
田邊 早苗		
森崎未紗希		
阿部太一郎	第2みのり学園	

みのり村作品展 ～色とりどりに輝くカタチ～

令和4年11月23日～11月27日の5日間、大分市のアートプラザにて開催した「みのり村作品展」は、関係各位のご協力をいただき無事終了することができました。多くの方々にご来場頂きまして心より感謝申し上げます。



日出部駐車場完成間近



みのり村特別休暇の ママパパ with ホリデー ～ 榎原 一樹さん～

6月13日から17日までママパパ with ホリデーを取得しました。休暇中は妻も育休中で共に育児を行うことができ、近くの公園に遊びに行ったり、一緒に子ども服を買いに行ったりと充実した日々を過ごすことが出来ました。妻も負担が減ってとても喜んでおり、私も5日間子どもと過ごせて幸せでした。



Café m・歩っの トリプルカレー

一度に3つの味を楽しめます。味は期間限定カレーのため来店されてのお楽しみ。是非ご賞味ください。



サラダ・デザート付 900円

どを行う中で、ご利用者お一人おひとりに「寄り添う支援の大切さ」を学びました。ご利用者とのふれあい、職員との関わりは私にとって、忘れることのできないとても貴重な体験でした。

その後、平成二十九年に障害福祉サービス事業所ワークセンター「誠」に異動となりました。ワークセンター「誠」は、障がいのある人に自分の体調や体力に合わせて働く場を提供する就労支援施設です。これまでの業務とは全く異なる仕事ですが、ご利用者に寄り添いながら支援するという点では、デイサービスセンターと共通する部分を感じています。

私の担当業務は、いち押し工房内で梅やジャム、レトルトカレーの製造を通して、ご利用者に「職業指導」を行うことです。担当の利用者は二十代前半と若く、出来なかつた作業が少しずつ出来るようになるなど、日ごとに変化が見られ、自分のことのようにうれしく感じ将来が楽しみです。

結びになりますが、本日この日が迎えられましたのも理事長先生を始め、支えて下さった職員の皆様、そして家族のおかげと感謝の気持ち一杯です。

この表彰のお言葉一つひとつを励みとして、これからも誠意をもって仕事に取り組んでまいりたいと思います。今後ともご指導頂きますようお願い申し上げます。

これからのみのり村の更なるご繁栄を祈念し、私のお礼の言葉とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

令和四年十二月八日
ワークセンター「誠」 支援員
甲斐田 恵子



10年 謝辞

でした。

そして今年七月より白百合園への突然な異動、「この年になって異動？」と不安ばかりでしたが、未経験な職場へ行くことになりました。三日続くかなあと思っていました。白百合園の職員の方にも温かく受け入れてもらい、八月より夜勤も入り、三日どころか五ヶ月が過ぎてしまいました。利用者の方にも仲よくさせてもらい、「明日、来る？」と毎日言ってもらっています。白百合園では「支援」、できることは自分で、との場所を忘れ、つい援助している自分に気づき、「介護」ではない場所なんだと改めて気持ちを引きしめる事も度々です。

無資格で入職し、学ぶ時間、資格を得るチャンスを頂いたことに感謝します。

出来は悪いですが、五体満足で産まれ健康な体で仕事が出来ていること、両親に感謝です。

大木理事長をはじめ菩提樹の方々に、私を諦める事なくご指導して頂いた二十年という長い年月に感謝します。大きく成長できたかわかりませんが、みのり村で仕事をさせて頂いていることに大変感謝します。

本日は、本当にありがとうございました。

令和四年十二月八日
白百合園 支援員
安倍 晴子



20年 謝辞



第18回

みのり村70周年記念誌 が完成しました

2011年から2021年までの10年間をまとめました。



総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- ・特別養護老人ホーム菩提樹（個室ユニット）
- ・ショートステイ事業
- ・菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ・ケアプランセンターぼだいじゅ
- ・ホームヘルプステーション ぼだいじゅ
- ・配食サービス
- ・在宅介護支援センターぼだいじゅ
- ・えむほガーデン（Café m・歩っ・えん）
- ・障がい者支援施設 第1みのり学園
- ・児童発達支援センター「プリンちゃん」
- ・障がい者支援施設 第2みのり学園
- ・障がい者支援施設 白百合園
- ・みのりスマイル（就労）
- ・総合相談支援 M・プラザ HIJI
- ・障がい者支援施設 白萩園
- ・ワークセンター「誠」（就労）
- ・みのり村 いち押し工房
- ・グループホーム みのり村
- ・総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- ・みのり村介護・福祉タクシー
- ・菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
（平成27年4月～令和2年6月）
- ・認知症カフェ ふくろう茶屋
（平成28年1月～令和2年6月）

障がい児から就労、そして老後までの
安心トータルサポート

編集・発行／本部人事企画課

〒873-0013
大分県杵築市大字日野 1921 番地の 7
電話：0978-66-1200
FAX：0978-62-2974
URL <http://www.minorimura.or.jp/>

※写真掲載には、
本人の了解を得ております。

日出部LPガス非常用発電機設置

アクト響ホールに続き、みのり学園にも非常用発電機を設置しました。（災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金活用）

事業総額 20,746,000 円
補助金額 8,590,000 円



大分短期大学生がシャイン マスカット収穫をお手伝い



日出の発達支援センターの子どもたち
シャインマスカット収穫

園芸療法研究の学生がサポート

「日出」日出町大神の社会福祉法人みのり村・みのり学園児童発達支援センターにある同法人系列の障害児施設に、園芸療法研究の学生がサポートして収穫作業を行いました。

園芸療法をテーマにした卒業論文のための研究をしている同短大園芸科2年の安部初夏さん(20)は、切り取った房が地面に落ちないように子どもたちをサポートして、「福祉サービスを利用して人たちが、植物に関わることに影響などを調べてみたい」と話していました。（田崎啓三）

福祉サービス事業所の農場でシャインマスカットの収穫体験をした。園芸療法を研究している大分短大の学生が作業を手伝った。

同日午前、3〜5歳児10人が収穫適期を迎えたシャインマスカットのハウスを訪れた。子どもたちはミニコンテナの上に立ち、職員らに支えてもらいながら背丈より高い所にある房をはさみで収穫していった。収穫物は家族と一緒に食べるため家に持ち帰った。

園芸療法をテーマにした卒業論文のための研究をしている同短大園芸科2年の安部初夏さん(20)は、切り取った房が地面に落ちないように子どもたちをサポートして、「福祉サービスを利用して人たちが、植物に関わることに影響などを調べてみたい」と話していました。（田崎啓三）

シャインマスカットを収穫する子どもと、作業を見守る安部初夏さん(左)、日出町大神

令和4年8月25日 大分合同新聞掲載

令和4年度内部監査を行いました

- ・高齢者福祉部 11月8日
- ・日出障がい福祉部 11月15日
- ・杵築障がい福祉部 11月22日



杵築障がい福祉部内部監査の様子

編集後記

寒冷の候、寒風が身に染みる時期となりました。みのり村では稲刈りも終わり、銀杏は散りより一層冬の景色となりました。さて、今号では「みのり村ふれあい体育祭」を紹介いたしました。コロナウイルス感染拡大により体を動かす機会が減ったなか、各事業所単位で体育祭を開催し体を動かしたりフレッシュできました。記録用に各体育祭の様子を写真に撮りましたが、どの写真も皆さん笑顔で楽しそうな雰囲気に参加して頂けていたのがよかったです。

至らないところもあったかとは思いますが、一年間ありがとうございました。来年度もみのり村広報委員一同頑張りますので宜しくお願い致します。

次号では、4月にみのり村に入職するフレッシュな新卒職員の紹介も予定していますので、楽しみにお待ちください。（広報担当）